

道立病院における平成28年度上半期の医療事故等の発生状況について

道立病院では、病院運営の透明性を高め、道民の医療に対する信頼を深めるとともに、職員の意識を高め、医療における安全管理体制の向上を図ることを目的として、平成18年3月に「道立病院における医療事故等の公表基準」を定め、年2回、半期毎に発生状況を公表しており、今回、平成28年度上半期を取りまとめた。

1 インシデントの発生状況について

(1) インシデントの定義

日常診療の現場において、患者に被害が発生することはなかったが、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした事例を言う。(ヒヤリ・ハット)

(2) インシデントの区分及び発生状況

区分	件数等 (H28上半期)	過去の状況(上半期)	
		H27	H26
1 前もって気づいた事例(薬の取り違えなど)	533件 (36.6%)	520件	440件
2 検査や処置を要しなかった事例(転倒など)	924件 (63.4%)	935件	1,047件
合計	1,457件 (100.0%)	1,455件 (2,795件)	1,487件 (2,782件)

※括弧内は年間件数

2 医療事故の発生状況について

(1) 医療事故の定義

疾病そのものではなく、医療に関わる場所で、医療の全過程において発生する人身事故一切で、医療行為や管理上の過失の有無を問わない。

(2) 医療事故の区分及び発生状況

区分	件数等 (H28上半期)	主な事例	過去の状況(上半期)	
			H27	H26
1 確認のための検査や簡単な処置・治療を要した事例	116件 (96.7%)	○ 車いすで廊下を移動中に転倒。 ○ 点滴スタンドが倒れ、左こめかみに擦過傷。	137件	168件
2 処置や治療を要した事例	4件 (3.3%)	○ トイレで転倒し、額部裂傷のため縫合。 ○ 病室で転倒し、後頭部裂傷のため縫合。	17件	10件
3 濃厚な処置や治療を要した事例	0件	—	2件	8件
4 永続的な障害や後遺症が残った事例	0件	—	0件	1件
5 死亡した事例	0件	—	0件	2件
合計	120件	—	156件 (303件)	189件 (340件)

※括弧内は年間件数

(3) 公表区分別内訳

公表区分	対象	件数	公表時期	摘要
一括公表	上記事故区分1、2～4のうち 医療過誤無し	120件	半期毎	・件数のみ公表
概要公表	上記事故区分2、3のうち 医療過誤有り	0件	半期毎	・事例ごとに概要を公表
個別公表	上記事故区分4のうち医療過誤有り、 上記事故区分5	0件	原則随時	・患者及び家族の同意を得て公表

※ 医療過誤とは、医療事故のうち、医療の遂行過程において、医療従事者の故意又は過失があり、患者に被害が発生し、且つ故意・過失と被害との間に因果関係があると認められるもの。

3 今後の対応について

病院長会議等を活用して医療事故の発生状況等を周知するとともに、各病院に設置している医療安全対策委員会等を通じて、今回、公表対象となっている事例の概要等について情報共有を図り、病院職員各々の注意を喚起するなど、医療事故等の発生防止に取り組む。